

単元名 にて いる かん字

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。
 (2) 語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
 (3) 漢字の形に注意し、楽しみながら文を書こうとする。

標準的な展開例

01010308_001

【教材名】にて いる かん字 (下 P.118～P.119)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 似ている漢字に気を付けて、文を書く。 ★漢字の形や書き順に気を付けて書こう。 ○教科書(P.118)にある漢字を見比べて、似ているところと違うところを発表する。</p> <p>○似ているところと違うところに気を付けて、ノートに例文を視写する。 ○教科書(P.119)にある漢字を、書き順に気を付けて書く。 ○書き順に気を付けながら例文を視写する。</p> <p>3 教科書にある漢字を使って、文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の例文を音読し、形は似ているが、読み方と意味が異なることを意識させる。 ・似ている漢字を並べて板書し、違う部分を色分けするなどして、違いを視覚的に捉えさせる。 ・教科書を見ながら一文字ずつ丁寧に書かせ、定着を図る。 <p>【評】漢字を読み書きする活動を通して、形や筆順に気を付けて書く「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】文を作る活動を通して、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】文を作る活動を通して、楽しみながら文を書こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】